



つなぐ

三次市立布野中学校 学校通信

布野に学び
地域の未来をつくる



令和7年2月4日

三次市立布野中学校 校長 吉浪 徳香

ふるさとと 未来を創る 布野中学校

～今年も皆様と共に子どもたちを育み人づくりまちづくりへとつなげ 信頼される学校をつくりまします～

令和7年がスタートし1ヶ月が経過しました。今年度も生徒たちは地域から学び体験させていただき、考えて行動する力、協力してものごとを進める力が伸びてきています。目は輝き、振り返りに書く内容も変わってきました。「問いをもち、力を合わせて探究し課題解決し、振り返る」この繰り返して、地域の人づくり・まちづくりにつながる力が、確かに伸びていると感じます。



「ふるさとと 未来を創る 布野中学校」布野小学校・布野中学校では、これからも「地域と共にある学校」として、皆様と共に子どもたちを育み、人づくりまちづくりへとつなげてまいります。これからも、布野の子どもたちを共に見守り、育てていただきますよう、よろしく願いいたします。

みよし未来交流フェスタが開催されました

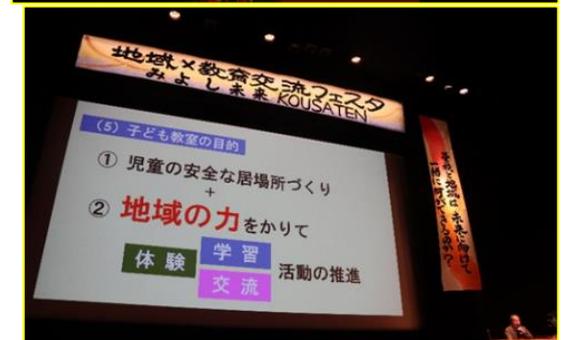
1月18日（土）「地域×教育交流フェスタ みよし未来KOUSATEN」が開催されました。

「学校と地域は未来に向けて、一緒に何ができるのか」をテーマに開かれたこの会に、布野地域からも多くの皆様に参加していただき、ありがとうございました。多様な所属の多くの方に、交差点のように出会う楽しい場でした。

自治振興区の掲示もあり、布野地域の取組も聞かせていただきました。受付のホールでは、コミュニティ・スクールの発表があり、布野中学校区コミュニティ・スクールの発表もさせていただきました。保護者・地域の方々もたくさん駆けつけ、熱心に耳を傾けてくださり、たいへん心強かったです。

その後、きりりホールで、布野町まちづくり連合会事務局長（布野中学校区コミュニティ・スクール地域学校協働活動推進員）二本木譲さんの発表がありました。

二本木さんの布野放課後子ども教室の取組は、①児童の安全な居場所をつくり②地域の力をかりて体験・学習・交流活動を推進し子どもたちを育むという取組でした。布野中学校区コミュニティ・スクールの目的と重なり、布野地域では、長年脈々と地域の方々



放課後児童教室について語る二本木譲さん(R7.1.18)

子どもたちを育ててくださっていたことを再認識させていただきました。布野の子どもたちに豊かな感性、知的好奇心、集中力、学ぶ力等が育まれている理由がよく分かりました。中学校の活動にもつないでいきたいと考えます。

はじめに書いたように、今年の本校のスローガンは「ふるさとと 未来を創る 布野中学校」とさせていただきます。これからも「学校と地域は未来に向けて、一緒に何ができるのか」を皆様と共に考え、行動し続けてまいります。引き続き、よろしくお願いいたします。



説明を熱心に聞いてくださる地域の方々

説明する谷川校長・村本教諭と地域の方々

コミュニティ・スクール発表の会場

布野中学校にご寄付をいただきました。

布野中学校に地域の方からご寄付をいただきました。

寄付者は、山本静雄様（東京都在住）と匿名様（布野町在住）です。

ご披露させていただき、心より感謝申し上げます。

除加湿空気清浄機、加湿空気清浄機、デジタルフォトフレーム、壁掛け時計（3）を買わせていただき、学校に設置させていただきました。

皆様のご支援のおかげで学校周辺の環境も整い、こうして校舎内の教育環境整備もさらに進めることができます。あたたかいご支援に、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

生徒会新執行部がスタートしています！



生徒会スローガン 一心不乱～一つのことに集中し、自分から考動する～

生徒会も3年生から2年生にバトンが渡されました。新執行部は、小田直幸くん 溝口蓮翔くん 米光せらさんです。新執行部は冬休みにリーダー研修を行い、目標と具体策を決め、3学期から実動を始めています。

令和7年度生徒会スローガンは「一心不乱～一つのことに集中し、自分から考動する～」です。

このスローガンには、「他のことに惑わされず、一つのことに集中すれば大きな成果が得られる。そのためには、ただやってみるのではなく、しっかりと考えて目標を設定し、計画を立てた上で実行することが必要である。私たちは、すべての生徒がしっかりと考えて目標を設定し、達成するために集中して積極的に行動することができれば、もっとこの学校が良くなるを考え、このスローガンを設定した」という強い思いが込められています。考えて動くという意味を含め、あえて「考動」という言葉を創造して使っています。



リーダー研修を行い笑顔の生徒会執行部 (R6. 12. 24)

また、「服装・態度を整えて心も整える」
 (小田くん)「より意見を言えるよう、自分
 を変える。皆が意見を言いやすい明るい環境
 をつくる」(米光さん)「皆が当たり前のこ
 とが当たり前ができるようにする」(溝口く
 ん)とやりたいことを語っています。

新執行部は、皆が挨拶をし合い、皆が意見
 を言いやすい環境をつくるために、早速「ハ
 イタッチの日」を始めました。生徒たちはと

ても嬉しそうに挨拶や言葉を交わし合っています。「挨拶が学校の中ではできるけれども、
 登下校の時など、地域で十分できていない」という課題意識もっており、「学校だけでは
 なくて、地域でもできるように」と呼び掛けたいと考えています。リーダーの執行部中心に
 生徒皆が進んでいこうとしています。

地域の皆様、集中し考えて動き、さらに成長しようとしている布野中学校の生徒たちを、
 これからもよろしくお願いします。見かけたら声をかけ、挨拶を聞いてやってください。こ
 れからも、布野の子どもたちを見守り、共に育てていただきますよう、よろしくお願いいた
 します。

公約は次の通りです。生徒会で力を合わせてこの公約を実現してほしいと期待します。

	名 前	公 約
生徒会長	米光 せら さん	みんなが笑顔で挨拶し合える過ごしや すい学校にする。
文化委員長	溝口 蓮翔 くん	みんなが当たり前のことを当たり前 にできる。
生活委員長	小田 直行 くん	態度、服装を改めて美しく整った学校 にする。

エコキャップを市役所の方に手渡しました。

1月15日(水)に環境クリーンセンター課長の坂口福則様をお迎えし、これまで集めて
 きたエコキャップを渡すことができました。エコキャップを集める活動は代議員会が中心と
 なって継続しています。贈呈式では司会、あいさつを執行部がつとめ、贈呈を代議員が行い
 ました。保護者の方々にもご協力いただいているこの活動が形となり、生徒たちも手応えを
 感じていました。坂口さんは「ほんの少しの手間をかけて回収することで、世の中に役立つ
 ことへ参画したことになる」と語ってくださいました。身近なことから始められるこの活動
 を大事にし、今後も社会に貢献できるよう、布野中学校の委員会活動として継続して取り組
 んでいきたいと思えます。



贈呈式の進行を行う執行部と代議員



代議員の垣内くんが代表で手渡す (R7. 1. 15)



ご協力で集まった多くのエコキャップ



始業式後の生徒会長あいさつ (R7. 1. 7)

授業研修を重ね、授業を高め合っています

3学期に入っても布野中学校では授業研修を重ねています。1月20日(月)国語科「少年の日の思い出」高見六花教諭、1月30日(木)国語科「走れメロス」高見六花教諭と研修を重ね、教職員が意見交換をしました。2月6日(木)は美術科「印象に残るシンボルマーク」小山晃生教諭が授業研修を行います。入学説明会でも、児童の皆さんと授業を行います。布野中はこれからも授業を磨くことを大切にします。



一時間一時間の授業を大切に (R7.1.31)



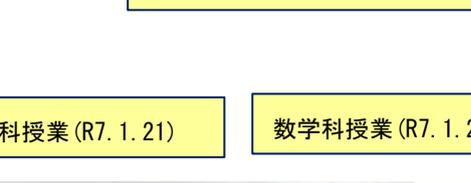
国語科授業研修 (R7.1.20)



授業後の教職員の熱心な協議 (R7.1.30)



英語科授業 (R7.1.21)



数学科授業 (R7.1.21)



—2・3月の主な行事—

- 2月 4日(火) 布野中学校入学説明会
- 2月 7日(金) 漢字検定
- 2月12日(水) 道徳授業参観
教育講演会
講師 細川建材店スポーツ事業部
細川 猛氏
- 学級懇談会
- 2月14日(金) 数学検定
- 2月19日(水) 第5回PTA学年委員会
- 2月26日(水) ~2月27日(木)
広島県公立高等学校入学者選抜
一次選抜試験
26日 学科試験 27日 自己表現等
- 2月26日(水) ~2月28日(金)
学年末試験(1・2年生)
- 3月 3日(月) 3年生を送る会
- 3月 4日(火) 第3回布野中学校区コミュニティ・
スクール学校運営協議会
- 3月 7日(金) 卒業証書授与式
- 3月10日(月) 広島県公立高等学校入学者選抜
一次選抜・連携型選抜合格者発表
- 3月11日(火) 地域ボランティア
花植えボランティア(中学生・小6)
- 3月24日(月) 修了式・離任式

* 青少年育成町民会議 * 短歌の部 *

- 挨拶を 笑顔で返せる 町づくり
- 挨拶は 心をつなぐ 朝から晩まで 布野を明るく
- 「こんにちは」この一言で 地域の人との 関わり大事に
- 「こんちは」この一言で 心つなげる 人々と
- 布野の町 木が生い茂る 雄大な 自然を先へ つないでゆく

三次市立布野中学校一年生

家族や地域の温かさの中で育まれている布野の子どもたち。これからも、ふるさと布野を愛し、人を大切にする生徒を、皆様と共に育てていきます。

